

- [1] (1) 原点を出発して数直線上を動く点 P の座標が, 時刻  $t$  の関数として,  
 $x=t^3-10t^2+24t$  ( $t>0$ ) で表されるという。点 P が原点に戻ったときの速度  $v$  と加速度  $\alpha$  を求めよ。  
(2) 座標平面上を運動する点 P の, 時刻  $t$  における座標が  $x=4\cos t$ ,  $y=\sin 2t$  で表されるとき,  $t=\frac{\pi}{3}$  における点 P の速さと加速度の大きさを求めよ。

- [2] (1) 動点 P が, 原点 O を中心とする半径  $r$  の円周上を, 定点  $P_0$  から出発して,  $OP$  が 1 秒間に角  $\omega$  の割合で回転するように等速円運動をしている。P の加速度の大きさを求めよ。  
(2)  $a>0$ ,  $\omega>0$  とする。座標平面上を運動する点 P の, 時刻  $t$  における座標が  $x=a(\omega t - \sin \omega t)$ ,  $y=a(1 - \cos \omega t)$  で表されるとき, 加速度の大きさは一定であることを示せ。

- [3] 楕円  $\frac{x^2}{9} + \frac{y^2}{4} = 1$  ( $x>0$ ,  $y>0$ ) 上の動点 P が一定の速さ 2 で  $x$  座標が増加する向きに移動している。 $x=\sqrt{3}$  における速度と加速度を求めよ。

4 底面の半径が 5 cm、高さが 10 cm の直円錐状の容器を逆さまに置く。この容器に 2 cm<sup>3</sup>/s の割合で静かに水を注ぐ。水の深さが 4 cm になる瞬間ににおいて、次のものを求めよ。

(1) 水面の上昇する速さ

(2) 水面の面積の増加する割合

5 表面積が  $4\pi \text{ cm}^2/\text{s}$  の一定の割合で増加している球がある。半径が 10 cm になる瞬間ににおいて、以下のものを求めよ。

(1) 半径の増加する速度

(2) 体積の増加する速度

6 (1)  $|x|$  が十分小さいとき、次の関数の 1 次の近似式、2 次の近似式を作れ。

(ア)  $f(x) = \log(1+x)$

(イ)  $f(x) = \sqrt{1 + \sin x}$

(2) 1 次の近似式を用いて、次の数の近似値を求めよ。ただし、 $\pi = 3.14$ 、 $\sqrt{3} = 1.73$  として小数第 2 位まで求めよ。

(ア)  $\cos 61^\circ$

(イ)  $\sqrt[3]{340}$

(ウ)  $\sqrt{1 + \pi}$

- 7 (1) 球の体積  $V$  が 1 % 増加するとき, 球の半径  $r$  と球の表面積  $S$  は, それぞれ約何 % 増加するか。  
(2)  $AD \parallel BC$  の等脚台形 ABCD において,  $AB=2\text{ cm}$ ,  $BC=4\text{ cm}$ ,  $\angle B=60^\circ$  とする。 $\angle B$  が  $1^\circ$  だけ増えたとき, 台形 ABCD の面積  $S$  は, ほどどれだけ増えるか。  
ただし,  $\pi=3.14$  とする。

- 8 座標平面上の動点 P の時刻  $t$  における座標  $(x, y)$  が  $\begin{cases} x = \sin t \\ y = \frac{1}{2}\cos 2t \end{cases}$  で表されるとき, 点 P の速度の大きさの最大値を求めよ。

- 1 (1) 原点を出発して数直線上を動く点 P の座標が、時刻  $t$  の関数として、  
 $x = t^3 - 10t^2 + 24t$  ( $t > 0$ ) で表されるという。点 P が原点に戻ったときの速度  $v$  と加速度  $\alpha$  を求めよ。  
(2) 座標平面上を運動する点 P の、時刻  $t$  における座標が  $x = 4\cos t$ ,  $y = \sin 2t$  で表されるとき、 $t = \frac{\pi}{3}$  における点 P の速さと加速度の大きさを求めよ。

解答 (1)  $t = 4$  のとき  $v = -8$ ,  $\alpha = 4$ ;  $t = 6$  のとき  $v = 12$ ,  $\alpha = 16$   
(2) 速さ  $\sqrt{13}$ , 加速度の大きさ 4

解説

$$(1) v = \frac{dx}{dt} = 3t^2 - 20t + 24 \quad \dots \dots \textcircled{1}, \quad \alpha = \frac{d^2x}{dt^2} = 6t - 20 \quad \dots \dots \textcircled{2}$$

$$x = 0 \text{ とすると } t^3 - 10t^2 + 24t = 0$$

$$\text{ゆえに } t(t-4)(t-6) = 0 \quad \text{よって } t = 0, 4, 6$$

$t > 0$  で点 P が原点に戻るのは  $t = 4, 6$  のときである。

したがって、(1), (2) から

$$t = 4 \text{ のとき } v = 3 \cdot 4^2 - 20 \cdot 4 + 24 = -8, \quad \alpha = 6 \cdot 4 - 20 = 4$$

$$t = 6 \text{ のとき } v = 3 \cdot 6^2 - 20 \cdot 6 + 24 = 12, \quad \alpha = 6 \cdot 6 - 20 = 16$$

- (2) 点 P の時刻  $t$  における速度ベクトルを  $\vec{v}$ , 加速度ベクトルを  $\vec{\alpha}$  とすると

$$\vec{v} = \left( \frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt} \right) = (-4\sin t, 2\cos 2t)$$

$$\vec{\alpha} = \left( \frac{d^2x}{dt^2}, \frac{d^2y}{dt^2} \right) = (-4\cos t, -4\sin 2t)$$

$$t = \frac{\pi}{3} \text{ を代入すると } \vec{v} = \left( -4\sin \frac{\pi}{3}, 2\cos \frac{2}{3}\pi \right) = (-2\sqrt{3}, -1)$$

$$\vec{\alpha} = \left( -4\cos \frac{\pi}{3}, -4\sin \frac{2}{3}\pi \right) = (-2, -2\sqrt{3})$$

よって、速さは  $|\vec{v}| = \sqrt{(-2\sqrt{3})^2 + (-1)^2} = \sqrt{13}$

加速度の大きさは  $|\vec{\alpha}| = \sqrt{(-2)^2 + (-2\sqrt{3})^2} = \sqrt{16} = 4$

- 2 (1) 動点 P が、原点 O を中心とする半径  $r$  の円周上を、定点  $P_0$  から出発して、OP が 1 秒間に角  $\omega$  の割合で回転するように等速円運動をしている。P の加速度の大きさを求めよ。

- (2)  $a > 0$ ,  $\omega > 0$  とする。座標平面上を運動する点 P の、時刻  $t$  における座標が  $x = a(\omega t - \sin \omega t)$ ,  $y = a(1 - \cos \omega t)$  で表されるとき、加速度の大きさは一定であることを示せ。

解答 (1)  $r\omega^2$  (2) 略

解説

- (1) 加速度ベクトル  $\vec{\alpha}$  は、 $\vec{\alpha} = (-r\omega^2 \cos(\omega t + \beta), -r\omega^2 \sin(\omega t + \beta))$  であるから

$$|\vec{\alpha}| = \sqrt{(-r\omega^2)^2 \cos^2(\omega t + \beta) + (-r\omega^2)^2 \sin^2(\omega t + \beta)} = \sqrt{(r\omega^2)^2}$$

$$r > 0 \text{ であるから } |\vec{\alpha}| = r\omega^2$$

- (2) 点 P の時刻  $t$  における速度ベクトルを  $\vec{v}$ , 加速度ベクトルを  $\vec{\alpha}$  とすると

$$\vec{v} = \left( \frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt} \right) = (a(\omega - \omega \cos \omega t), a\omega \sin \omega t)$$

$$\vec{\alpha} = \left( \frac{d^2x}{dt^2}, \frac{d^2y}{dt^2} \right) = (a\omega^2 \sin \omega t, a\omega^2 \cos \omega t)$$

よって、加速度の大きさは  $|\vec{\alpha}| = \sqrt{(a\omega^2 \sin \omega t)^2 + (a\omega^2 \cos \omega t)^2} = \sqrt{(a\omega^2)^2}$   
 $a > 0$ ,  $\omega > 0$  であるから、加速度の大きさは  $a\omega^2$  で一定である。

- 3 楕円  $\frac{x^2}{9} + \frac{y^2}{4} = 1$  ( $x > 0$ ,  $y > 0$ ) 上の動点 P が一定の速さ 2 で  $x$  座標が増加する向きに移動している。 $x = \sqrt{3}$  における速度と加速度を求めよ。

解答 速度  $\left( \frac{6}{\sqrt{11}}, -\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}} \right)$ , 加速度  $\left( -\frac{36\sqrt{3}}{121}, -\frac{54\sqrt{6}}{121} \right)$

解説

$$\frac{x^2}{9} + \frac{y^2}{4} = 1 \quad \dots \dots \textcircled{1} \text{ の両辺を } t \text{ で微分して } \frac{2x}{9} \cdot \frac{dx}{dt} + \frac{y}{2} \cdot \frac{dy}{dt} = 0 \quad \dots \dots \textcircled{2}$$

$$P \text{ の速さが 2 であるから } \left( \frac{dx}{dt} \right)^2 + \left( \frac{dy}{dt} \right)^2 = 2^2 \quad \dots \dots \textcircled{3}$$

$$x \text{ 座標が増加する向きに移動しているから } \frac{dx}{dt} > 0$$

$$\textcircled{1} \text{ から } y^2 = 4 \left( 1 - \frac{x^2}{9} \right) \quad x = \sqrt{3} \text{ を代入して } y^2 = \frac{8}{3}$$

$$y > 0 \text{ であるから } y = \frac{2\sqrt{6}}{3}$$

$$x = \sqrt{3}, y = \frac{2\sqrt{6}}{3} \text{ を } \textcircled{2} \text{ に代入して } \frac{2\sqrt{3}}{9} \cdot \frac{dx}{dt} + \frac{\sqrt{6}}{3} \cdot \frac{dy}{dt} = 0$$

$$\text{ゆえに } \frac{dy}{dt} = -\frac{\sqrt{2}}{3} \cdot \frac{dx}{dt} \quad \dots \dots \textcircled{2}'$$

$$\textcircled{2}' \text{ を } \textcircled{3} \text{ に代入して, } \left( 1 + \frac{2}{9} \right) \left( \frac{dx}{dt} \right)^2 = 4 \text{ から } \left( \frac{dx}{dt} \right)^2 = \frac{36}{11}$$

$$\frac{dx}{dt} > 0 \text{ であるから } \frac{dx}{dt} = \frac{6}{\sqrt{11}} \quad \text{このとき, } \textcircled{2}' \text{ から } \frac{dy}{dt} = -\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}}$$

$$\text{よって, } x = \sqrt{3} \text{ における速度は } \left( \frac{6}{\sqrt{11}}, -\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}} \right)$$

$$\text{次に, } \textcircled{2} \text{ の両辺を } t \text{ で微分して } \frac{2}{9} \left\{ \left( \frac{dx}{dt} \right)^2 + x \frac{d^2x}{dt^2} \right\} + \frac{1}{2} \left\{ \left( \frac{dy}{dt} \right)^2 + y \frac{d^2y}{dt^2} \right\} = 0$$

$$x = \sqrt{3}, y = \frac{2\sqrt{6}}{3}, \frac{dx}{dt} = \frac{6}{\sqrt{11}}, \frac{dy}{dt} = -\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}} \text{ を代入して整理すると}$$

$$2 \frac{d^2x}{dt^2} + 3\sqrt{2} \frac{d^2y}{dt^2} = -\frac{36\sqrt{3}}{11} \quad \dots \dots \textcircled{4}$$

$$\text{また, } \textcircled{3} \text{ の両辺を } t \text{ で微分して } 2 \frac{dx}{dt} \cdot \frac{d^2x}{dt^2} + 2 \frac{dy}{dt} \cdot \frac{d^2y}{dt^2} = 0$$

$$\frac{dx}{dt} = \frac{6}{\sqrt{11}}, \frac{dy}{dt} = -\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}} \text{ を代入して整理すると}$$

$$3 \frac{d^2x}{dt^2} - \sqrt{2} \frac{d^2y}{dt^2} = 0 \quad \dots \dots \textcircled{5}$$

$$\textcircled{4}, \textcircled{5} \text{ から } \frac{d^2x}{dt^2} = -\frac{36\sqrt{3}}{121}, \frac{d^2y}{dt^2} = -\frac{54\sqrt{6}}{121}$$

$$\text{よって, } x = \sqrt{3} \text{ における加速度は } \left( -\frac{36\sqrt{3}}{121}, -\frac{54\sqrt{6}}{121} \right)$$

- 4 底面の半径が 5 cm, 高さが 10 cm の直円錐状の容器を逆さまに置く。この容器に  $2 \text{ cm}^3/\text{s}$  の割合で静かに水を注ぐ。水の深さが 4 cm になる瞬間ににおいて、次のものを求

めよ。

- (1) 水面の上昇する速さ

- (2) 水面の面積の増加する割合

解答 (1)  $\frac{1}{2\pi} \text{ cm/s}$  (2)  $1 \text{ cm}^2/\text{s}$

解説

$$t \text{ 秒後の水の体積を } V \text{ cm}^3 \text{ とすると } \frac{dV}{dt} = 2 \text{ (cm}^3/\text{s}) \quad \dots \dots \textcircled{1}$$

- (1)  $t$  秒後の水面の半径を  $r$  cm, 水の深さを  $h$  cm とすると

$$\text{条件から } r : h = 5 : 10 \quad \text{よって } r = \frac{h}{2}$$

$$\text{これを } V = \frac{1}{3}\pi r^2 h \text{ に代入して } V = \frac{1}{3}\pi \left( \frac{h}{2} \right)^2 h = \frac{1}{12}\pi h^3$$

$$\text{両辺を } t \text{ で微分して } \frac{dV}{dt} = \frac{1}{4}\pi h^2 \frac{dh}{dt}$$

$$\text{①から } 2 = \frac{1}{4}\pi h^2 \frac{dh}{dt} \quad \text{ゆえに } \frac{dh}{dt} = \frac{8}{\pi h^2}$$

$$\text{よって, } h = 4 \text{ のとき } \frac{dh}{dt} = \frac{8}{\pi \cdot 4^2} = \frac{1}{2\pi} \text{ (cm/s)}$$

$$\text{別解 } V = 2t \text{ と } V = \frac{1}{12}\pi h^3 \text{ から } t = \frac{1}{24}\pi h^3$$

$$\text{両辺を } t \text{ で微分して } 1 = \frac{1}{8}\pi h^2 \frac{dh}{dt} \quad \text{ゆえに } \frac{dh}{dt} = \frac{8}{\pi h^2}$$

$$\text{よって, } h = 4 \text{ のとき } \frac{dh}{dt} = \frac{1}{2\pi} \text{ (cm/s)}$$

- (2)  $t$  秒後の水面の面積を  $S$  cm<sup>2</sup> とすると  $S = \pi r^2$

$$r = \frac{h}{2} \text{ を代入して } S = \frac{1}{4}\pi h^2$$

$$\text{両辺を } t \text{ で微分して } \frac{dS}{dt} = \frac{1}{2}\pi h \frac{dh}{dt}$$

$h = 4$  のときの水面の面積の増加する割合は、(1) の結果から

$$\frac{dS}{dt} = \frac{1}{2}\pi \cdot 4 \cdot \frac{1}{2\pi} = 1 \text{ (cm}^2/\text{s})$$

- 5 表面積が  $4\pi$  cm<sup>2</sup>/s の一定の割合で増加している球がある。半径が 10 cm になる瞬間ににおいて、以下のものを求めよ。

- (1) 半径の増加する速度

- (2) 体積の増加する速度

解答 (1)  $\frac{1}{20} \text{ cm/s}$  (2)  $20\pi \text{ cm}^3/\text{s}$

解説

$$t \text{ 秒後の表面積を } S \text{ cm}^2 \text{ とすると } \frac{dS}{dt} = 4\pi \text{ (cm}^2/\text{s}) \quad \dots \dots \textcircled{1}$$

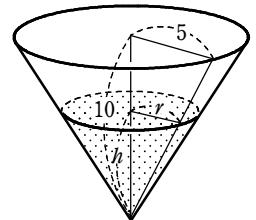
- (1)  $t$  秒後の球の半径を  $r$  cm とすると  $S = 4\pi r^2$

$$\text{両辺を } t \text{ で微分して } \frac{dS}{dt} = 8\pi r \frac{dr}{dt}$$

$$\text{ゆえに } \frac{dr}{dt} = \frac{dS}{dt} \cdot \frac{1}{8\pi r} \quad \text{①から } \frac{dr}{dt} = 4\pi \cdot \frac{1}{8\pi r} = \frac{1}{2r}$$

$$\text{求める速度は, } r = 10 \text{ を代入して } \frac{1}{20} \text{ cm/s}$$

$$(2) t 秒後の球の体積を  $V$  cm<sup>3</sup> とすると  $V = \frac{4}{3}\pi r^3$$$



$$\text{両辺を } t \text{ で微分して } \frac{dV}{dt} = 4\pi r^2 \frac{dr}{dt}$$

$r=10$  のときの半径の増加する速度は、(1) より  $\frac{dr}{dt} = \frac{1}{20}$  であるから

$$\frac{dV}{dt} = 4\pi \cdot 10^2 \cdot \frac{1}{20} = 20\pi$$

よって、求める速度は  $20\pi \text{ cm}^3/\text{s}$

[6] (1)  $|x|$  が十分小さいとき、次の関数の1次の近似式、2次の近似式を作れ。

$$(ア) f(x) = \log(1+x) \quad (イ) f(x) = \sqrt{1+\sin x}$$

(2) 1次の近似式を用いて、次の数の近似値を求めよ。ただし、 $\pi=3.14$ 、 $\sqrt{3}=1.73$  として小数第2位まで求めよ。

$$(ア) \cos 61^\circ \quad (イ) \sqrt[3]{340} \quad (ウ) \sqrt{1+\pi}$$

解答 (1) 1次の近似式、2次の近似式の順に

$$(ア) x, x - \frac{1}{2}x^2 \quad (イ) 1 + \frac{1}{2}x, 1 + \frac{1}{2}x - \frac{1}{8}x^2$$

$$(2) (ア) 0.48 \quad (イ) 6.98 \quad (ウ) 2.04$$

解説

$$(1) (ア) f'(x) = \frac{1}{1+x}, f''(x) = -\frac{1}{(1+x)^2}$$

よって  $f(0)=0, f'(0)=1, f''(0)=-1$

$|x|$  が十分小さいとき 1次の近似式は  $f(x) \approx x$

$$2\text{次の近似式は } f(x) \approx x - \frac{1}{2}x^2$$

$$(イ) f'(x) = \frac{1}{2}(1+\sin x)^{-\frac{1}{2}} \cdot (1+\sin x)' = \frac{\cos x}{2\sqrt{1+\sin x}}$$

$$f''(x) = \frac{1}{2} \cdot \frac{-\sin x \sqrt{1+\sin x} - \cos x \cdot \frac{\cos x}{2\sqrt{1+\sin x}}}{1+\sin x}$$

$$= -\frac{1}{4} \cdot \frac{2\sin x + 2\sin^2 x + \cos^2 x}{(1+\sin x)^{\frac{3}{2}}} = -\frac{\sin^2 x + 2\sin x + 1}{4(1+\sin x)^{\frac{3}{2}}}$$

$$\text{よって } f(0)=1, f'(0)=\frac{1}{2}, f''(0)=-\frac{1}{4}$$

$$|x| \text{ が十分小さいとき } 1\text{次の近似式は } f(x) \approx 1 + \frac{1}{2}x$$

$$2\text{次の近似式は } f(x) \approx 1 + \frac{1}{2}x - \frac{1}{8}x^2$$

$$(2) (ア) \cos 61^\circ = \cos(60^\circ + 1^\circ) = \cos\left(\frac{\pi}{3} + \frac{\pi}{180}\right)$$

$(\cos x)' = -\sin x$  であるから、 $|h|$  が十分小さいとき

$$\cos(a+h) \approx \cos a - h \sin a$$

$$\text{よって } \cos\left(\frac{\pi}{3} + \frac{\pi}{180}\right) \approx \cos\frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{180} \sin\frac{\pi}{3}$$

$$= \frac{1}{2} - \frac{\pi}{180} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \approx \frac{180 - 3.14 \times 1.73}{360}$$

$$= 0.4849 \dots \approx 0.48$$

$$(イ) \sqrt[3]{340} = \sqrt[3]{343 - 3} = \sqrt[3]{7^3 \left(1 - \frac{3}{7^3}\right)} = 7 \cdot \sqrt[3]{1 - \frac{3}{7^3}}$$

$f(x) = \sqrt[3]{1+x}$  とする

$$f'(x) = \left\{ (1+x)^{\frac{1}{3}} \right\}' = \frac{1}{3}(1+x)^{-\frac{2}{3}} = \frac{1}{3 \cdot \sqrt[3]{(1+x)^2}}$$

$$\text{ゆえに, } |x| \text{ が十分小さいとき } f(x) \approx 1 + \frac{1}{3}x$$

$$\text{よって } \sqrt[3]{340} \approx 7 \left(1 - \frac{1}{3} \cdot \frac{3}{7^3}\right) = 7 - \frac{1}{49} = \frac{342}{49}$$

$$= 6.979 \dots \approx 6.98$$

(ウ)  $\pi=3.14$  から、 $1+\pi=4+x$  とする。

$\frac{x}{4}$  は十分小さいから

$$\sqrt{4+x} = 2\sqrt{1+\frac{x}{4}} \approx 2\left(1 + \frac{1}{2} \cdot \frac{x}{4}\right) = 2 + \frac{0.14}{4} = 2.035 \approx 2.04$$

[7] (1) 球の体積  $V$  が 1% 増加するとき、球の半径  $r$  と球の表面積  $S$  は、それぞれ約何% 増加するか。

(2)  $AD \parallel BC$  の等脚台形 ABCD において、 $AB=2 \text{ cm}$ 、 $BC=4 \text{ cm}$ 、 $\angle B=60^\circ$  とする。 $\angle B$  が  $1^\circ$ だけ増えたとき、台形 ABCD の面積  $S$  は、ほどどれだけ増えるか。ただし、 $\pi=3.14$  とする。

解答 (1) 半径は約  $\frac{1}{3}\%$ 、表面積は約  $\frac{2}{3}\%$  増加する (2) 約  $0.10 \text{ cm}^2$  増える

解説

$$(1) V = \frac{4}{3}\pi r^3, S = 4\pi r^2 \text{ から } \frac{dV}{dr} = 4\pi r^2, \frac{dS}{dr} = 8\pi r$$

$$\text{ゆえに } \Delta V \approx 4\pi r^2 \Delta r, \Delta S \approx 8\pi r \Delta r$$

$$\text{よって } \frac{\Delta V}{V} \approx 3 \frac{\Delta r}{r}, \frac{\Delta S}{S} \approx 2 \frac{\Delta r}{r}$$

球の体積が 1% 増加するとき、 $\frac{\Delta V}{V} = \frac{1}{100}$  であるから

$$\frac{\Delta r}{r} \approx \frac{1}{300}, \frac{\Delta S}{S} \approx \frac{2}{300}$$

ゆえに、球の半径は約  $\frac{1}{3}\%$  増加、表面積は約  $\frac{2}{3}\%$  増加する。

$$(2) \angle B=x \text{ (ラジアン) とするとき } x=60^\circ=\frac{\pi}{3}, \Delta x=1^\circ=\frac{\pi}{180}$$

点 A から辺 BC に下ろした垂線の足を H とすると、 $BH=2\cos x$  であるから

$$AD=BC-2BH=4-4\cos x$$

台形 ABCD の面積を  $S$  とすると

$$S = \frac{1}{2}(AD+BC) \cdot AH = \frac{1}{2}[(4-4\cos x)+4] \cdot 2\sin x = 4(2-\cos x)\sin x$$

$$= 8\sin x - 4\sin x \cos x = 8\sin x - 2\sin 2x$$

$$\text{ゆえに } S'=8\cos x - 2\cos 2x \cdot (2x)' = 4(2\cos x - \cos 2x)$$

$x$  の増分  $\Delta x$  に対する  $S$  の増分を  $\Delta S$  とすると、 $|x|$  が十分小さいとき、次の式が成立。

$$\Delta S \approx S' \Delta x = 4(2\cos x - \cos 2x) \Delta x$$

$$x=\frac{\pi}{3} \text{ のとき } S'=4\left[2 \cdot \frac{1}{2} - \left(-\frac{1}{2}\right)\right] = 6$$

$$\text{よって } \Delta S \approx 6 \cdot \frac{\pi}{180} = \frac{\pi}{30} \approx \frac{3.14}{30} = 0.104 \dots \approx 0.10$$

したがって、約  $0.10 \text{ cm}^2$  増える。

[8] 座標平面上の動点 P の時刻  $t$  における座標  $(x, y)$  が  $\begin{cases} x = \sin t \\ y = \frac{1}{2}\cos 2t \end{cases}$  で表されるとき、点 P の速度の大きさの最大値を求めよ。

解答  $\frac{5}{4}$

解説

$$\frac{dx}{dt} = \cos t, \frac{dy}{dt} = -\sin 2t \text{ であるから、時刻 } t \text{ における速度ベクトルを } \vec{v} \text{ とすると}$$

$$|\vec{v}|^2 = \left(\frac{dx}{dt}\right)^2 + \left(\frac{dy}{dt}\right)^2 = \cos^2 t + \sin^2 2t$$

$$= \cos^2 t + 4\sin^2 t \cos^2 t = \cos^2 t(1 + 4\sin^2 t)$$

ここで、 $\sin^2 t = X$  とおくと  $0 \leq X \leq 1$  ……①

$$|\vec{v}|^2 = (1-X)(1+4X) = -4X^2 + 3X + 1 = -4\left(X - \frac{3}{8}\right)^2 + \frac{25}{16}$$

ゆえに、①の範囲において、 $|\vec{v}|^2$  は  $X = \frac{3}{8}$  のとき最大値  $\frac{25}{16}$  をとる。

$|\vec{v}| \geq 0$  であるから、 $|\vec{v}|^2$  が最大のとき  $|\vec{v}|$  も最大となる。

したがって、求める最大値は  $\sqrt{\frac{25}{16}} = \frac{5}{4}$